

コゲラのヘルパーと思われる個体の観察例について

山上信雄¹

はじめに

筆者は、3羽のコゲラがおとずれていると思われる巣を確認した。3羽以上のコゲラが同じ巣をおとずれ、給餌などを行なう行動については、現在までに報告された例はない。本報では、今回観察されたこれら3羽の給餌頻度などについて報告する。

個体識別と給餌頻度の方法

抱卵期に巣穴付近にとまった個体を写真で記録し、各個体の風切羽の模様を比較したところ、それらの模様が3種類に分類された(図1)。そこで、それぞれの模様をもつ個体を、別個体とみなし、それぞれの個体が巣をおとずれる頻度を観察した。

観察した巣は、長野県下伊那郡高森町のナシ畑で確認された巣である。このナシ畑は川辺にあり、南方には2次林、北方には人工林が広がっていた。観察期間は、1992年4月20日～5月21日までである。この期間は、おもにこの巣の抱卵期から育雛期にあっていた。給餌頻度は、ビデオと写真をもちいて記録した。

結果および考察

それぞれの模様をもつ個体を、A、B、Cとした。巣立ち4日前の5月18日に1時間20分間、巣穴をおとずれた個体をすべて写真撮影したところ、個体Bが他の2個体よりも圧倒的に多く給餌を行っており、次に個体Cの給餌頻度が高く、個体Aはわずか3度しか給餌していなかった(表1)。また、同じく育雛後期の5月19日に10分間、5月20日と巣立ち日の21日に4時間ずつ、ビデオによって給餌頻度を観察したところ、やはりBが最も多く給餌し、Cが次に給餌頻度が多く、Aについては19日に1度だけ給餌しているのを確認しただけだった(表1)。

表1. 各個体が巣をおとずれた回数。

Table 1. Frequency of visits from each individual.

観察日 Date	観察時間 Observation time	観察方法 Observation method	個体名 Individual name		
			A	B	C
May 18	1hr 20min	Still camera	3	17	7
May 19	10min	Video camera	1	5	3
May 20	4hr	Video camera	0	19	9
May 21	4hr	Video camera	0	13	6

1992年12月5日受理

1. 〒399-31 長野県下伊那郡高森町下市田 2964

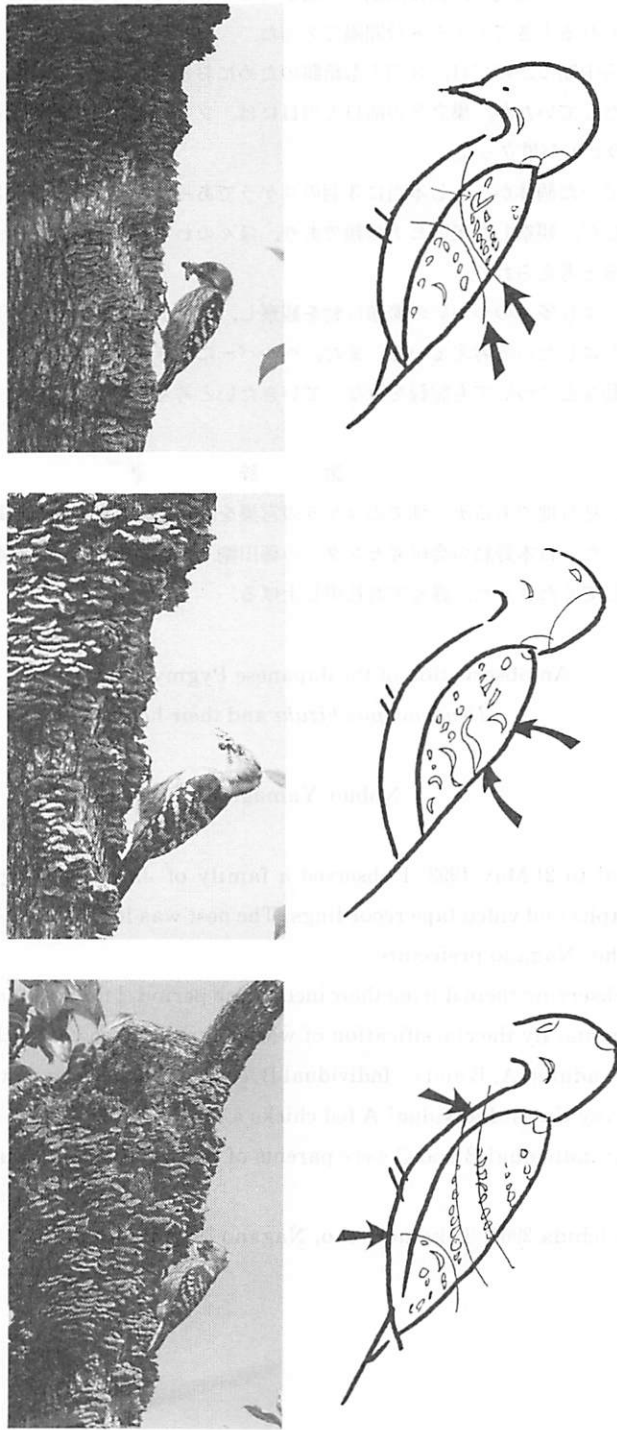


図1. 観察した巣で確認された個体の模様.

Fig. 1. Three patterns of white wing patches of Japanese pygmy woodpeckers at the observed nest.

給餌の間隔はかなり不規則で、数秒間隔で給餌が行なわれることもあったが、平均的には、最も頻繁に給餌が行なわれるときでおよそ8分間隔であった。

育雛期前期から中期にかけては、3羽とも給餌のためにおとずれたときに1度巣穴の中に入り、ヒナのフンを運びだしていたが、巣立ちの前日と当日には、フンを運びだす行動は確認されなかった。5月21日に3羽のヒナが巣立った。

巣をおとずれていた個体が、もし本当に3羽のコゲラであったとすると、より頻繁に給餌を行っていた個体BとCが、観察した巣のヒナの親であり、ほんのわずかしか給餌を行なわなかった個体Aがヘルパーであると考えられる。

筆者は、今後、より多くのつがいの繁殖行動を観察し、コゲラでもヘルパーが存在しているのかどうかをより明らかにしたいと考えている。また、ヘルパーにかぎらず、給餌やフンの運び出しなど、その他の繁殖行動などについても記録を行なっていきたいと考えている。

謝 辞

中平孝雄氏は、私有地であるナシ畑でのコゲラの営巣を教えてください、その巣を調査するにあたってご協力いただいた。日本野鳥の会研究センターの藤田剛、金井裕の両氏は、本報をまとめるにあたって、親切に指導してくださった。謹んでお礼申し上げます。

An observation of the Japanese Pygmy Woodpecker *Dendrocopos kizuki* and their helper

Nobuo Yamagami¹

From 20 April to 21 May 1992, I observed a family of Japanese Pygmy Woodpeckers using photographs and video tape recordings. The nest was located in a bank of pear field in Takamori-cho, Nagano prefecture.

When I was observing them during their incubation period, I noticed that there were extra numbers of parents. By the classification of white patch patterns of feathers, I found that there were three adults, A, B and C. Individual B fed chicks most frequently, and individual C fed chicks many times. Individual A fed chicks a few times.

I suppose that individual B and C were parents of the nest and individual A was a helper of that pair.

1. Shimo-ichida 2964, Takamori-cho, Nagano 399-31.